受理
-8.3.23
介護保険係

令和７年度　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人健光園	理事長	古石　隆光
事業所名	藤城の家	管理者	小川 友恵

法人・事業所の特徴	・地域の資源として子どもからお年寄りまで世代を越えて交流できる場。 ・住み慣れたご自宅でお一人おひとりの状態に合わせて通い、泊まり、訪問を組み合わせることにより馴染みの職員、地域とともに安心ある生活を過ごして頂ける。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	2人	2人	1人	0人	9人	0人	20人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	更にレクリエーションやイベントに力を入れ、個別に対応出来る力も付けていく。	既存のレクリエーションやイベントは継続して行えている。新たに企画したジャズコンサートを定期的に開催することができた	個別化した対応ができている。	小規模の中での個別レクリエーションは継続的に実施し、家族や地域の参加ができるようなイベントを開催していく。
B．事業所のしつらえ・環境	定期的な換気やみなが触れる箇所の消毒の徹底、感染防止対策を継続していく。その中でも、居心地のよい空間づくりをしていく。	継続的に感染予防に取り組むことができ、感染症が蔓延することはなかった。事業所内のしつらえを適宜ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟできた。	少しずつ地域に開かれた藤城の家に戻りつつある。入りやすくなってきた。	慣れることなく感染予防の気持ちを持ち続けながら、防止対策を継続していく。来園された方にとっても居心地の良い空間になるようにしていく。
C．事業所と地域のかかわり	個別の職員だけでなく、全職員が地域活動に参加し、意義を心に留めながらご利用者と関われるようにしていく。	人員体制上、全職員が地域活動に参加することは難しかった。	藤城学区はいい所。職員ももっと関わってほしい。いつまでも「地域で生きている！」という思いを持ち続けてほしい。	早急に人員体制を整え、全職員が地域活動に参加できるように努める。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	藤城学区、桃山学区に続き藤森学区や深草学区の勉強会を開催することにより、地域理解を深めていく。	勉強会は開催できている。	地域資源に関して言ってもらえればアドバイスもできるし、地域の勉強会も開くことができる。	地域の有識者の力をお借りしながら、さらに発展した勉強会を開催し、全職員で地域理解を深めていく。
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議での活動報告を継続する。色々な職員が会議に出席できるような人員体制になるようにしていく。	活動報告は継続してできている。人員体制を整えることができず、管理者以外の出席が難しかった。今年度もご家族に参加していただくことができた。	運営推進会議を通して、藤城小学校の作品展への出品が継続して行えているのは評価できる。	運営推進会議での活動報告を継続する。出席したことのない職員が会議に出席できるような人員体制になるよう努める。
F．事業所の防災・災害対策	災害に対して、研修や訓練を継続し、職員全員が自分事のように捉えられるようにする。地域の防災訓練にも色々な職員が参加できる様にする。	研修・訓練は継続的に行えている。地域の防災訓練への参加は特定の職員が参加するのにとどまっている。	藤城の家の防災訓練に参加できている。もっとどういう風なことをしてほしいのか、具体的に言ってほしい。	防災・災害に対して、研修や訓練を継続する。全ての職員が、いざというときに率先して動けるよう自分事のように捉えられるようにする。